分校だより

地域と共に歩む
大曲農業高等学校太田分校
〈ＴＥＬ〉０１８７（８８）１３１１
〈ＦＡＸ〉０１８７（８６）９０３５

収穫祭

大地の恵みに感謝して

　11月９日（水）収穫祭が行われました。「大地の恵みに感謝して」というテーマで、毎年この時期に行われている農業高校ならではの行事です。開会行事が行われた後、ＧＬクラブの活動の報告や農業委員会と農業コースの生徒たちが「全校田植え競技会」の振り返りをスライド上映しまたした。ＧＬクラブがどのような活動や研究をしているのかを知る良い機会となりました。全校田植え競技会の報告では、たくさんの写真を時間の経過ごとに映し出すことで作業の様子がよく分かる報告でした。７月中旬に行われた全校除草作業の様子についての報告もあり、作業の大変さが伝わってきました。
　お昼は学校でとれたお米の他に、農場で栽培した里芋やネギなどをふんだんに使った芋の子汁をみんなで食べました。とても寒い日だったので、炊きたての新米と暖かい芋の子汁はとてもおいしかったです。苦労して育てたお米や野菜を食べて大地の恵みに感謝の一日でした。

【スライド上映】

保護者の方も来校し楽しみました。

田植え競技会報告の様子（左）とＧＬクラブの活動報告（右）

収穫祭と里芋

　秋の収穫感謝祭。秋ということばは飽食（あきぐひ）の祭りからきていると言われています。春からの農耕を助け稲田を守ってくれた田の神に収穫を感謝し、新穀でつくった神饌（しんせん・神に供える飲食物）、神酒でもてなすのが秋祭です。旧暦の10月をカンナヅキとし神無月などと書いて、俗に神々が出雲（いずも）に出かけて留守だといわれ、人々は物忌（ものいみ）をして慎しむ期間でした。長い物忌のあとに旧暦の11月に収穫祭として霜月祭が行われました。今日の勤労感謝の日のもとになった新嘗祭（にいなめさい）は、収穫祭であると同時に、翌年の種子たる稲の霊を誕生させる儀式でもあったようです。
　さて、お昼に食べた芋の子汁と言えば「里芋」がふんだんに入っている汁物のことですが、里芋の栽培はとても古く、縄文時代から栽培されてきたことがわかっている最も古い作物１つです。栗と共に長く主食の座にありました。神に奉納したり収穫祭の意味を持って始まった芋煮会が、10月初旬から、各地の収穫の終わる時期に合わせて順次行われていきます。剥いて茹でるという調理はかなり贅沢なもので、庶民が一般的にするようになったのは江戸時代頃ではないかと言われています。
　私たちの住む地域では当たり前のように栽培し食べている里芋ですが、都会では高級食材です。私たちのようににふんだんに食するのはとても贅沢なのです。季節のおいしい食べ物と収穫祭は、私たちの生活と深い関わりとともにある行事ですね。

見事な里芋が取れました

【食事会】

３年情報コースの生徒が朝から調理を開始

味噌味と醤油味の芋の子汁

こぼさないように調理室から運搬

みんな準備ができたかな？

大根のそぼろあんかけも↑

新米の大盛！

「こぼしたな～」

１年生は初めての昼食会

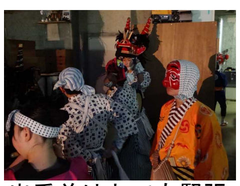
大根餅も登場！

秋田県高校郷土芸能・日本音楽合同発表会

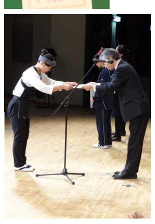
賞状といっしょにみんなで記念撮影

　11月20日（土）横手市ふるさと村で行われた「秋田県高校音楽・郷土芸能発表会」に郷土芸能部が出場しました。この大会で優勝すると、来年宮城で開催される全国大会への出場が決まる大切な大会でした。部員たちは毎日遅くまで練習を積み、大会に向けて頑張ってきました。結果は、優勝はできなかったものの特別賞を授賞する事ができました。ご苦労様でした。

出番前の練習



出番前はとても緊張



特別賞受賞の様子と会場の様子

トピックス

　11月11日～12日、東京有楽町駅前広場で「大仙ふるさと物産フェア」があり、生徒職員３名が特別栽培米と里芋の販売を行いました。どちらも無農薬・有機栽培ということで好評だったようです。太田分校を大いにアピールしてきました。

芸術鑑賞会

　午後からは芸術鑑賞会が行われました。ゲストに佐々木恵介を迎え、歌とトークで楽しみました。ラストは代表曲の「もっと秋田が好きになる」を全校生徒総立ちで盛り上がりました。生で聴く演奏はとてもすてきでした。最後は全員で記念写真。